

太田かずみ



<http://www.kazumi.ms>

「捲土重来を期して、新しい時代を切り拓く！」

こんにちは、太田かずみです。

いよいよ新しい時代が始まります。皆様とともに新しい時代の政治を考えていきたいと思えます。私は捲土重来を期して、現在無所属という立場で活動をしています。落選してから、有権者と同じ立場で政治を見てきましたが、おかしなことばかりです。

身を切る改革に逆行する、参議院定数6増

印象的だったのは、今年の通常国会で、参議院の定数を6増やす公職選挙法が、自民・公明の賛成多数で成立したことです。今年7月に行われる参議院選挙から適用されますが、これは自民党の議席である選挙区の議員を救済するためのものです。このように国会議員の身を守る法案を通し、国民には10月から消費税を8%から10%に負担を押し付けることは、国民をあまりにも愚弄しています。そもそも、国民に負担を求める前に議員定数の削減をするという、国民への約束を破るものです。

その場しのぎの参院給与削減法案

自民党はそうした世論の批判をかわすために、参院議員の給与を削減する法案を提出しました。定数増となり増えた経費を給与削

減で補おうというものです。しかしこれがおかしなことばかりです。定数を6増やす法案を成立させたのに、削減幅は3人分だけであり、しかもこの法案は3年限りの時限立法です。明らかにその場しのぎの選挙対策と言わざるを得ません。

このようなやり方は以前にもありました。2011年の東日本大震災の時、復興費用を確保するために、国民の皆様には所得税の増税を25年間お願いし、国会議員は給与の13%を削減、さらに議員定数の削減が実現するまでの措置として7%の削減、合計2割の給与を削減する法案が成立していました。しかし、今でも国民の増税は続いているというのに、国会議員の給与削減は2014年4月末で措置が終了しています。

政治に緊張感を取り戻すためにも、私たちは常に厳しく政治をチェックしていかなければなりません。

地方から政治を変える

平成の時代が終わろうとしている時、新しい時代への責任を果たすためにも、どうか政治を諦めずに関心を持って頂きたいと思えます。60年以上の歴史と強固な地方組織を持つ、自民党政治に打ち勝つためには、地方から政治を「変える」ことが必要だと考えています。その力を持っているのは、有権者の皆さんお一人お一人です！



▲ 裏面に太田かずみ、松崎たかひろさん、飯塚まことさんとの対談を掲載しています。



太田かずみ プロフィール

千葉県柏市に生まれる。
ゆりぞの幼稚園、土南部小学校、南部中学校、沼南高柳高校と地元柏市で就学。日本大学法学部卒業

- 2002年 東葛地区で起業。社団法人松戸青年会議所に入会、新潟県中越地震の際には炊き出しのボランティア活動に参加するなど地域活動に積極的に取り組む
- 2005年 千葉県議会議員補欠選挙に松戸市選挙区より初当選。25歳6ヶ月での当選は千葉県議会史上最年少

- 2006年 衆議院千葉県第7区補欠選挙で国政初当選。全国最年少(当時)の国会議員で政権交代のきっかけをつくる
- 2009年 衆議院総選挙(福島県第2区)で、2期目の当選
- 2012年 衆議院総選挙で落選
- 2014年 衆議院総選挙 千葉県第8区(柏市、我孫子市)で出馬。比例南関東ブロックにおいて3期目の当選
- 2017年 衆議院総選挙で落選
現在「すべての子どもたちの可能性を伸ばせる社会をつくるために」奮闘中